

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 11月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	開設当初から、居間と食堂を同じ空間を利用しており、食後も同席で過ごされる事が多く、職員が係わることで利用者様同士の会話が行われたり、コミュニケーションを図るにはくつろげる空間ではなく、距離感も感じられていた。	食堂の座席とは別の場所で、くつろいだ環境の下、利用者様同士のコミュニケーションが図り易い空間を作る。	リビングのコーナーにソファを置き、隣同士が仕切られていない座席で互いを身近に感じていただける場所を作る。	1ヶ月
2	23	長期入居の方もあり、認知症の進行と共に、この世界観が強く現れるようになってきた。	幼少の頃からの思い出や経験等を日常生活に取り入れることで、安心して生活を送って頂ける様、生活暦等をもっと把握する。	センター方式を学習する機会を持ち、活用を深める。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。